

調査ご協力をお願い

研究名：熊本県内における院外心肺停止症例の実態および救急体制に関する研究

研究主任：熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科

(熊本大学大学院生命科学研究部心不全先進医療共同研究講座 小島 淳)

〒860-8556 熊本市中央区本荘 1-1-1

熊本大学医学部附属病院 東病棟 5F 循環器内科病棟

Tel/Fax 096-373-7418

熊本大学医学部附属病院循環器内科では、熊本県内における院外心肺停止症例の実態および救急体制に関する研究を行っております。県内で院外心肺停止がどの程度発症しているのか、またどのような経過をたどっているのか、救急体制についても明らかにし、今後の熊本県民のための救急診療に役立てたいと考えております。

これは院外で心肺停止となり救急隊が接触した患者様全員が対象です。調査項目ですが、具体的には年齢・性別・発生日・発生時間・発生場所・目撃者の有無・一次救命処置の有無・救急隊の接触時間・救急隊による医療行為・患者様の意識レベルやバイタル・病院到着時間・予後など調査いたしますが、こちらから直接患者様にお電話することは基本的にありません。また薬などの介入を行うことはなく、個人が特定できる氏名や ID 番号はデータ上に残さず、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が出漏することはありませんので、患者様に危険性や不利益は全く生じません。

いったん心肺停止状態になると救命できる可能性はかなり低く（心臓が原因での心肺停止で目撃があった場合の1ヶ月生存率は10%強）、今後は病院に搬送される前に一般市民による救命処置が重要となってきています。しかしながら、これまで熊本県内における心肺停止の実態をはっきりさせたデータはありません。救急医療の実態をはっきりさせることで、今後の県内の救急体制に役立てたいと考えております。

本研究は熊本県ならびに熊本県内13消防本部の協力を得て行われます。県民が心肺停止に関する知識、予防の知識、発生時の対応に関する正しい知識を持つことが極めて重要であることが上げられており、熊本県民への啓発を進めていくうえでも本研究により心肺停止の実態を明らかにすることは必要不可欠と考えられます。

本研究の研究結果は学会や論文などで発表すると同時に、マスコミを使って公表されることもありますので、県内の心肺停止の現状を県民の皆様幅広く知っていただければと願っております。

この調査への参加・不参加はご自由に判断されて構いません。不参加でも不利益が生じることは全くございません。しかし本研究の結果は熊本県のデータとして残されていきますので、精度の高い結果を得るためにも心肺停止状態に陥った患者様全員の参加が重要になってきます。そのため本研究は以下の施設の協力で行われます。得られた情報は厳密に管理され、本研究以外の目的で使用されることはありません。

なお、本臨床研究計画において、国や企業などから交付された研究費（運営費交付金、科学研究費など）はなく、本臨床研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

（参加施設）

熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科

熊本県総務部市町村・税務局消防保安課消防班

熊本県 12 消防本部

- 熊本市消防局
- 山鹿市消防本部
- 人吉下球磨消防組合消防本部
- 上益城消防組合消防本部
- 上球磨消防組合消防本部
- 八代広域行政事務組合消防本部
- 阿蘇広域行政事務組合消防本部
- 有明広域行政事務組合消防本部
- 水俣芦北広域行政事務組合消防本部
- 宇城広域連合消防本部
- 菊池広域連合消防本部
- 天草広域連合消防本部

（順不同）